



オーストラリア留学 持ち物チェックリスト



絶対に必要な持ち物

＜重要書類＞	
<input type="checkbox"/>	パスポート 有効期限に余裕があるかチェックしましょう。
<input type="checkbox"/>	パスポートのコピー 顔写真ページのコピーを印刷しておくとう便利です。
<input type="checkbox"/>	航空券 (Eチケット) Eチケットの場合は印刷しておきましょう。または、旅程表のPDFなどをスマホに保存し、オフラインでも出せるようにしておくとう便利です。
<input type="checkbox"/>	ビザ関連書類 ビザ取得の証明は通常、Eメールで届きます。メールを保存しておくか、メール及び添付ファイルを印刷しましょう。
<input type="checkbox"/>	滞在先資料 ホームステイや寮・シェアハウスなど、オーストラリアでの滞在先の情報をまとめておくとう安心です。
<input type="checkbox"/>	入学許可証 (CoE) 学生ビザの方のみ。学生ビザ申請の際に必要な入学許可証 (Confirmation of Enrolment) ですが、入国時に提示を求められることもあります。機内荷物ではなく、手荷物として持っておきましょう。
<input type="checkbox"/>	海外旅行保険証 治療費や保険の適応範囲が記載されているので、医師などが保険内容を確認するためにも重要な書類です。失くさないようにしましょう。
＜貴重品＞	
<input type="checkbox"/>	現金 (オーストラリアドル) 現金は入国後すぐに必要になる場合もあるので、日本の空港や銀行などで事前に少額用意しておくとう便利です。オーストラリアの空港でも両替可能ですが、到着時間などの関係で開いていない可能性もあります。出迎いのスタッフと合流できずタクシーを利用する場合、シェアハウスや寮などでデポジットが必要な場合、滞在先の近くに両替できる場所がない場合など、現金がすぐに必要となる可能性もあります。
<input type="checkbox"/>	現金 (日本円) 現地でオーストラリアドルへ両替することができます。また、帰国時にも必要となります。
<input type="checkbox"/>	クレジットカード オーストラリアはカード社会です。最低でも1枚は持って行きましょう (VISAとMasterは使える場所が多く便利です)。基本的には手数料が掛からないので、普段の生活にも便利です。
<input type="checkbox"/>	国際キャッシュカード 国際キャッシュカードは、PlusかCirrusのマークのついたカードが利用できます。現地ATMでオーストラリアドルでの出金が可能ですが、手数料がかかります。
＜生活・勉強道具＞	
<input type="checkbox"/>	スマートフォン SIMフリーのスマートフォンをお持ちの場合は、必ず持参しましょう。SIMフリーの場合、現地のSIMIに挿し替えれば、現地でも日本と同じようにインターネットや電話を利用できます。
<input type="checkbox"/>	パソコン 学校の課題でレポートを書く場合や、履歴書の作成の際に便利です。
<input type="checkbox"/>	変換プラグ オーストラリアのコンセントの形状は、ハの字の下に一本縦の穴がある「タイプ」です。日本の電化製品を使用するには、変換プラグが必要です。 参考:『オーストラリアのコンセントの形状・電圧まとめ』 https://workingholiday-plan.com/australia-outlet/
<input type="checkbox"/>	常備薬 アレルギーの薬、風邪薬、鎮痛剤、整腸剤など、普段使っている薬がある場合は持参しましょう。
<input type="checkbox"/>	衣類1週間分 1週間分あれば、ローテーションできます。現地でもすぐに服を買いたい! という方は、さらに少なめでも大丈夫です。
<input type="checkbox"/>	参考書など 日本語で解説された文法書や単語帳があると便利です。 参考:『ワーホリ前のおすすめ勉強法』 https://workingholiday-plan.com/study-english-beforehand/
<input type="checkbox"/>	筆記用具 普段使っているもの。
<input type="checkbox"/>	お土産 ホームステイ先にも日本のお土産を持って行くとう喜ばれます。お菓子、お箸、扇子、日本食、キーホルダーなど。

あるとう便利な持ち物

＜現地で入手困難＞	
<input type="checkbox"/>	電子辞書 携帯のアプリなど、オフラインでも使えるものがあれば、そちらでも大丈夫です。
<input type="checkbox"/>	延長コード/タコ足 充電するものが多い場合は、持っていくましょう。
<input type="checkbox"/>	水着 もちろん現地でも購入可能ですが、サイズが大きく合わないこともあるので、注意が必要です。
<input type="checkbox"/>	耳かき 現地で見つけるのは難しいです。
<input type="checkbox"/>	国際免許証 留学先で運転する予定がある人は、日本で取得して行きましょう。取得後1年間有効です。
<input type="checkbox"/>	使い捨てマスク 飛行機内は乾燥しているので、渡航時に役立ちます。* オーストラリアについてからマスクを着けていると、重病だと勘違いされるので気をつけましょう。
＜現地でも入手可能＞	
<input type="checkbox"/>	USB データの保存用にあるとう便利です。
<input type="checkbox"/>	歯ブラシ 現地の歯ブラシは、サイズが大きいのでもしお気に入りの歯ブラシがある人は持参しましょう。
<input type="checkbox"/>	メガネ 日本で使っているものを持参しましょう。現地でも購入可能ですが、日本と比べてやや高いです。

<input type="checkbox"/>	コンタクトレンズ	現地でも購入は可能ですが、日本に比べて高いです。
<input type="checkbox"/>	コンタクトレンズ洗浄液	薬局で入手可能。最初の1週間分のみ持参しましょう。
<input type="checkbox"/>	目薬	もし使い慣れた商品があるのであれば、持参しましょう。
<input type="checkbox"/>	スキンケア/化粧品	肌が敏感な方で、使い慣れている商品がある場合は持参しましょう。
<input type="checkbox"/>	生理用品	もちろん現地でも購入できますが、日本製の方が質が高い場合が多いです。短期留学の場合は、持参するのも良いでしょう。
<input type="checkbox"/>	軟膏	オロナインなど、怪我や火傷などに塗る軟膏を1つは持っているとう便利。
<input type="checkbox"/>	モバイルバッテリー	すでに持っている場合は、持参すると便利です。
<input type="checkbox"/>	サングラス	UVカット率の高いサングラスは、オーストラリアで購入可能です。しかし、サイズなどフィットしない可能性もあるので、普段使っているものがあれば持参しましょう
<input type="checkbox"/>	バスタオル	現地で購入することもできますが、1つはがあると安心です。
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット	ダメージを与えたくない衣類がある場合は、持っていきましょう。
<input type="checkbox"/>	バッグ/リュックサック	通学用に、使いやすい物があると便利です。
<input type="checkbox"/>	スニーカー/運動靴	通学用など、歩きやすい靴を一つは持って行くようにしましょう。小さいサイズは見つけにくい場合もあります。
<input type="checkbox"/>	サンダル/スリッパ	土足で生活する家もあるので、シェアハウスやホームステイ先の中でも使用することが多いです。もちろん現地でも簡単に購入できます。
<input type="checkbox"/>	カーディガンなどの長袖	夜など冷える日もあるので、羽織れるものを一つは持って行きましょう。
<input type="checkbox"/>	ヒートテック/ウインドブレーカー	寒い時に下に着るものとしてあれば便利です。
<input type="checkbox"/>	折りたたみ傘	折りたたみ傘はそれほど一般的ではないので、一つあると便利です。
<input type="checkbox"/>	爪切り	サイズや切れ味など、日本の爪切りの方がやや使いやすいです。
<input type="checkbox"/>	証明写真	学校によっては学生証を作るために必要な場合もあります。また、パスポートを紛失した際など緊急時にも役立ちます。現地でも入手可能ですが、やや高いです。

必要のない持ち物

<input type="checkbox"/>	ドライヤー	電圧が異なるため、日本製のものそのまま使用できません。ホームステイ先で借りるか、現地で購入しましょう。(1000円ほどで購入可能)
<input type="checkbox"/>	アイロン	電圧が異なるため、変圧器が必要となります。現地で購入しましょう。
<input type="checkbox"/>	変圧器	パソコンやデジカメ・スマホなどは、世界中共通の電圧に対応しています。100-240vとコードや充電器に記載してあればOK。100vとだけ記載してある日本の電化製品には変圧器が必要になります。ただし必要な場合であっても、変圧器は重いので現地での購入がおすすめです。
<input type="checkbox"/>	お茶やインスタント麺など現地にもある日本食	オーストラリアは食品の持ち込みに関して厳しいです。検疫の際にしっかり説明できない場合は、持っていけないようにしましょう。現地でも購入可能な場合が多いです。

持ち物についての注意点

■オーストラリアに持ち込めない物

オーストラリア政府は2019年4月以降、国外からの持ち込み物の規制を強化しています。入国の際に持ち込み禁止のものが発見された場合、今までは没収や罰金のみでした。しかし今後ケースによっては、所持していた人のビザをキャンセルし、オーストラリアへの入国を禁止することができるようになりました。この新法案によってビザがキャンセルされた場合、その後3年間に渡ってビザの付与がなされません。

オーストラリアへの持ち込み禁止物に関して、出発前にしっかりと確認しておきましょう。
詳しくは、オーストラリア大使館の検疫に関するページをご覧ください。
https://japan.embassy.gov.au/kyojapanese/quarantine_jp.html

■飛行機での手荷物のルール

飛行機に乗る際の荷物は、手荷物(機内持ち込み)とスーツケース(預け荷物)の二つに分かれます。
液体類や刃物類は手荷物として持ち込むと、没収されてしまうのでスーツケースの中に入れるようにしましょう。液体類と刃物類の規定は以下。

- ・液体類: ジェルなどを含む100ml以上の容器に入った液体物は、スーツケースに入れましょう。化粧水やお酒、コンタクト洗浄液、水などすべて対象です。
 - ・刃物類: 髭剃り、カミソリ、ハサミ、ナイフなど、迷ったらスーツケースに入れましょう。
- ※手荷物規定の詳細は、ご利用になる航空会社の説明ページをしっかりとご確認ください。

ワンホリプラン